

# 宇管工が水廻り研修会

## 学校職員に対処法を伝授



中村理事長



黒川委員長



渡邊係長

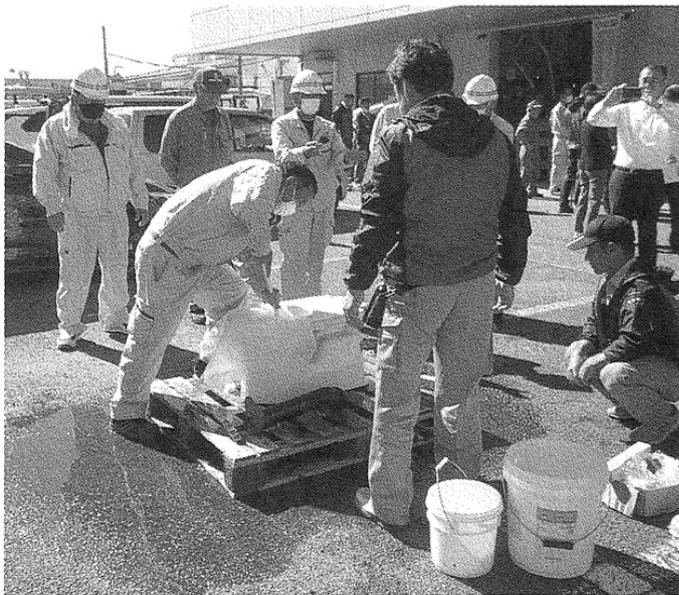
宇都宮市管工事業協同組合（中村理事長）は26日、宇都宮市平出工業団地の組合会館で市学校業務職員機動班12人を対象に水廻り研修会を開催。青年部（福富昭部会長）の会員10人が講師を務め、給排水の基本構造や図面の見方などの講義、蛇口交換や便器の詰まり解消の実技を行った。

中村理事長は「現役で活

躍している青年部が講師を務める。活動を通じて社会的責務の一つとして市のまちづくりに貢献していく。有事の際に対応できるように知識と技能を習得してほしい」とあいさつ。

黒川平教育技術委員長は「昨年度受講者の意見を踏まえ、より充実した研修内容となっている。今回講師を務める青年部メンバーはどのような質問でも答えら

れる。小さなことでも構わないので、どんどん質問してもらいたい」と呼び掛けた。市教育委員会学校管理課施設維持グループの渡邊幸



ラバーカップを使って便器の詰まりを取った

美係長は「受講者の中には経験のない職員もいる。しっかりと学び、今後の円滑な維持管理業務につなげてもらいたい」と述べた。

講義は青年部の星野祥史氏が講師を務め、学校の給排水設備の概要や経年劣化、維持管理、腰掛・和風便器やロータンの仕組み、図面の見方について図や写真を多用し分かりやすく解説。講義後の質疑応答では青年部が受講者一人一人の質問に丁寧に回答した。

実技は会館駐車場で実施。受講者は蛇口の交換や便器の詰まり解消を体験し、有事の際に迅速に対応できるようにラバーカップの使用手法や部品交換方法を真剣に学んだ。